

第 2 期 伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン変更案の概要について

1. 定住自立圏の名称

伊賀・山城南・東大和定住自立圏
(略称：伊賀城和定住自立圏)

2. 圏域を構成する市町村の名称

三重県伊賀市
京都府笠置町、南山城村
奈良県山添村
三重県名張市

3. 定住自立圏共生ビジョンの目的

定住自立圏構想とは、「中心市」の都市機能と「連携自治体」の魅力を活用して相互に役割分担し、連携・協力することで、圏域に暮らす全ての住民が幸せを実感できる地域にするとともに、地方圏への定住を促進するための取り組みです。この構想実現のため策定する定住自立圏共生ビジョンは、定住自立圏構想推進要綱（平成 20 年総行応第 39 号）及び定住自立圏形成協定に基づき、圏域全体で人口定住のために必要な生活機能を確保し、自立のための経済基盤や地域の誇りを培い、地域の活性化を図るため、中長期的な観点から、圏域が目指す将来像及びその実現のために必要な具体的な取り組み等を明らかにするものです。

第 1 期共生ビジョンは、当初、三重県伊賀市を中心市、京都府笠置町と南山城村を連携自治体として、2017（平成 29）年 6 月に策定しました。その後、2020（令和 2）年 4 月から奈良県山添村が連携自治体として加わり、3 府県を跨ぐ全国的にも類稀な圏域として、共生ビジョンの取り組みを進めてきましたが、2021（令和 3）年度で期間が終了することから、第 2 期共生ビジョンを 2022（令和 4）年 4 月に策定しました。その後、2024（令和 6）年 10 月から三重県名張市が連携自治体として加わり、圏域市町村がより一層の連帯感を醸成するために取り組みを進めます。

4. 定住自立圏共生ビジョンの期間

第 2 期ビジョンの期間は、2022（令和 4）年度から 2026（令和 8）年度までの 5 年間とし、毎年度所要の見直しを行うこととします。

2017 平成 29 年	2018 平成 30 年	2019 令和元年	2020 令和 2 年	2021 令和 3 年	2022 令和 4 年	2023 令和 5 年	2024 令和 6 年	2025 令和 7 年	2026 令和 8 年
第 1 期共生ビジョン					第 2 期共生ビジョン				

5. 圏域の将来像

“水と歴史でつながる圏域” 伊賀・山城南・東大和圏域

以下の 2 つの視点により、取り組みを推進します。

◆圏域でつながり、暮らしの安心を支える

医療体制や子育て支援、防災体制、働く場所の確保、地域公共交通体制の構築など、地域で暮らす生活基盤の確保・充実を図り、住み続けたい地域で暮らせる圏域をめざします。また、新型コロナウイルス感染症などの新たな危機を、圏域力を高めるチャンスと捉え、各事業の取り組みについては、新たな日常、新しい生活様式を意識したデジタルトランスフォーメーション（D X）を推進するとともに、持続可能な開発目標（S D G s）を意識した住み良い圏域をめざします。

◆活発な交流により、賑わいを創出する

伊賀市、笠置町、南山城村、山添村及び名張市がもつ地域資源、また地域に暮らす人材の交流等により、圏域全体で多様な資源の魅力を高め、賑わいの創出をめざします。特に、幼少期から圏域住民としての一体感を養うための交流を通して、エリアプライド（圏域の誇り・自尊心）の醸成をめざします。

6. 共生ビジョンの進行管理

取り組みを進めるにあたっては、時代のニーズや社会情勢の変化に対応するとともに、伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン懇談会等での関係者の意見を幅広く反映することとします。さらには、伊賀・山城南・東大和定住自立圏推進協議会等、自治体間での協議・調整の場において、それぞれの取り組み成果の把握・検証を行うなど、PDCA サイクルを構築し、次の施策や事業へ繋げることとします。

7. 具体的取組事項に係る成果指標（KPI）

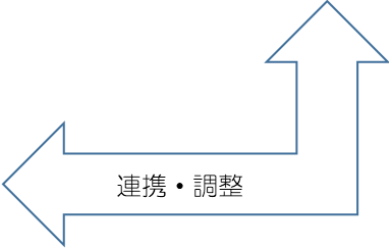
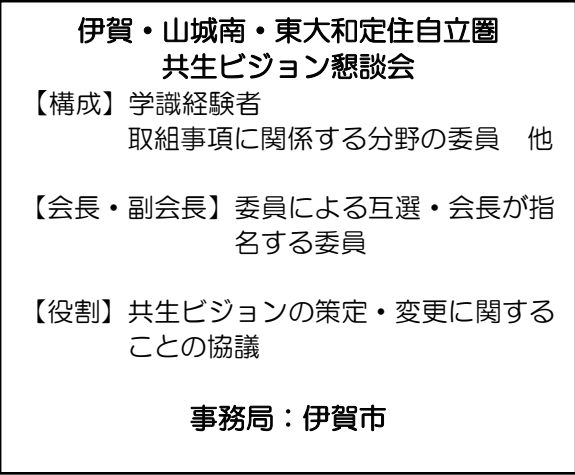
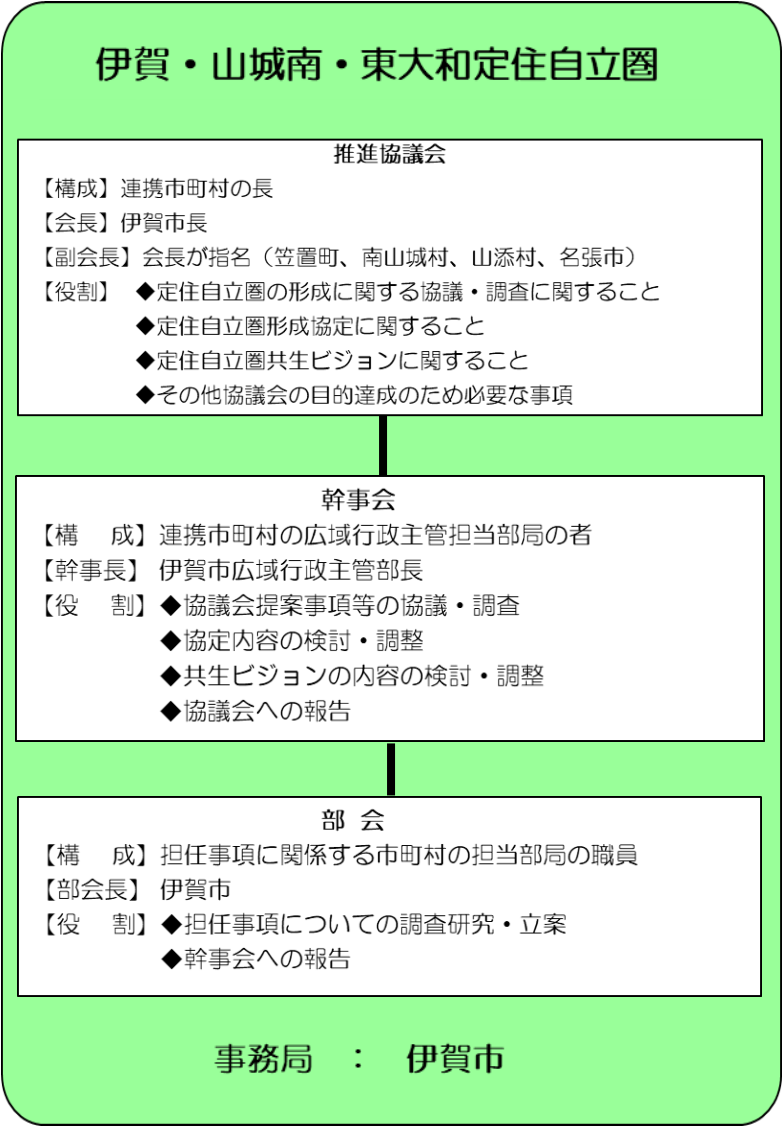
具体的取組事項に係る成果指標（KPI）では、全 36 成果指標のうち、12 を上方修正している。
(例)

事業No.	成果指標	連携市町村（4）現状値	連携市町村（4）実績値	名張市 実績値	連携市町村（5）目標値
		R 2 年度	R 5 年度	R 5 年度	R 8 年度
1111	救急・健康相談ダイヤル 24 受付件数	2,330 件	2,429 件	—	4,500 件
1332	圏域内市立図書館利用カード登録者数	—	295 人	1,574 人	2,200 人
2512	ふるさと納税寄付件数	16,340 件	18,814 件	14,681 件	57,098 件

8. 今後のスケジュール

- ・ 5 月 23 日～6 月 23 日 変更案（中間案）のパブリックコメント実施
- ・ 7 月 伊賀・山城南・東大和定住自立圏推進協議会にて決定
- ・ 8 月 第 2 期共生ビジョン変更

推進体制



共生ビジョン懇談会委員名簿

2025（R7）.4.1 現在

番号	区分	氏名	所属団体	備考
1	全般	久 隆 浩	近畿大学総合社会学部	会長
2	全般	川 上 正 晃	三重県伊賀地域防災総合事務所	
3	全般	島 田 和 幸	京都府山城広域振興局	
4	全般	大 西 勝 治	奈良県美しい南部東部振興課	
5	分野別関係者	中 浦 順一郎	伊賀市推薦委員（伊賀上野観光協会）	
6	分野別関係者	川 向 啓 造	伊賀市推薦委員（伊賀市商工会）	
7	分野別関係者	杉 本 佳 也	伊賀市推薦委員（伊賀市消防団）	
8	分野別関係者	東 達 廣	笠置町推薦委員	
9	分野別関係者	谷 本 友 紀	笠置町推薦委員	
10	分野別関係者	大 仲 順 子	南山城村推薦委員	副会長
11	分野別関係者	奥 田 詩 織	南山城村推薦委員	
12	分野別関係者	奥 谷 正 美	山添村推薦委員	
13	分野別関係者	中 西 義 樹	山添村推薦委員	
14	分野別関係者	時 枝 民 生	名張市推薦委員	
15	分野別関係者	我 山 博 章	名張市推薦委員	